

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年05月14日

計画の名称	瑞浪市液状化対策推進計画												
計画の期間	平成31年度 ~ 平成31年度 (1年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	瑞浪市												
計画の目標	昨今の災害において、内陸部でも液状化現象が発生し避難や救助活動の妨げになっている。瑞浪市でも災害時に液状化現象の発生が予想されるため、液状化現象の危険性を周知するための資料を作成し、災害に強い街づくりを促進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2	A	2	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	瑞浪市内における液状化対策がなされた住宅の割合 瑞浪市液状化危険度マップに掲載され周知を受けた住宅の割合 (マップへの掲載率) = (掲載された住宅の数) / (市内の住宅の数)	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	瑞浪市	直接	瑞浪市	-	-	瑞浪市液状化危険度マップ作成事業	液状化危険度マップの作成	瑞浪市						2		-
												小計					2		
												合計						2	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 瑞浪市が実施した。	事後評価の実施時期 令和2年4月
	公表の方法 瑞浪市ホームページにて
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	瑞浪市液化化危険度マップを作製し市ホームページにて公開したことにより、危険箇所等を市民へ発信できただけでなく、危機意識の向上にも寄与している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後更に展開される、防災等の施策に対しての有効活用が見込まれる。また、自主防災組織等による危険箇所の確認活動においても、本マップの効果が期待できる。	

